

町議会とあなたを結ぶ

議会だより

しらおい、179

定例会1・2・3月会議号

2022年4月30日発行



(2月に実施した子育て関係団体との懇談)



議会だより
(町ホームページ)



議会フェイスブック

P 3~13 定例会 3月会議 11人の議員が代表・一般質問

P 14~15 委員会報告(産業厚生・広報広聴)、政策研究会活動報告

P 16~17 定例会報告/会議予定/編集後記

P 18 議会報告会配信のお知らせ

北海道にある、元気まち



しらおい

令和4年定例会3月会議

代表質問

各会派を代表する議員が、町長の政治姿勢や町の将来の方針などについて質問するものです。



- ① 質問回数は3回までとし、質問時間の制限はない。
- ② 最初の質問は一括質問とし、それ以降は分割質問とする。

会派 きずな	<u>前田 博之 議員</u>	3 ページ
①	町政執行方針の基本姿勢について	
②	行財政及び行政組織運営について	
③	産業振興及び地域医療について	
④	教育行政執行方針について	
会派 公明党	<u>氏家 裕治 議員</u>	4 ページ
①	町政執行方針について	
②	教育行政執行方針について	
会派 日本経産党	<u>森 哲也 議員</u>	5 ページ
①	町政執行方針について	
会派 いぶき	<u>広地 紀彰 議員</u>	6 ページ
①	町政執行方針について	
②	教育行政執行方針について	
会派 みらい	<u>貳又 聖規 議員</u>	7 ページ
①	町政執行方針について	

一般質問

議員が行政全般にわたり執行状況などについて質問するものです。



- ① 質問時間は1人45分以内（答弁の時間を含まない）
- ② 一問一答方式を採用（時間内で何度でも再質問可能）

<u>大 淵 紀 夫 議 員</u>	8 ページ	
①	町財政について	
<u>長谷川 かおり 議 員</u>	9 ページ	
①	子育て環境の充実について	
②	行政サービスのワンストップ化について	
<u>佐 藤 雄 大 議 員</u>	10 ページ	
①	白老町行財政改革推進計画について	
<u>西 田 祐 子 議 員</u>	11 ページ	
①	創意ある教育行政の推進について	
②	再生可能エネルギーについて	
<u>久 保 一 美 議 員</u>	12 ページ	
①	本町における環境の取り組みについて	
<u>及 川 保 議 員</u>	13 ページ	
①	コロナウイルス感染の対応と情報発信について	

※定例会3月会議での質問項目を記載しています。

質問ページには掲載していない項目がありますのでご了承ください。

問 ポストコロナを見据えた
町の経済政策等は



きずな
前田博之議員

答 関係団体と連携し
取組を進める

問 ポストコロナの町政運営は
町長 感染症対策を継続しながら町民の皆様や事業者の支援、ポストコロナに向けた経済構造の転換、好循環の実現に取り組んでいく考えである。

問 ポストコロナを見据えた地域経済、産業の活性化に向けた施策の展開は
町長 コロナ禍により落ち込んだ町内経済のV字回復を支援するため。施策や外貨を獲得するため。施策を展開する必要がある。関係団体と連携し、取組を進める。

問 旧社台小、旧白老小、旧竹浦小、旧森野小中学校校舎・土地利用と除去は
町長 町公共施設等総合管理計画に基づき、旧学校教育施設についても土地利用と建物の除却を財源の確保も含めて総合的に勘案して順次進めていく。

問 令和3年度も不良債務（赤字）9400万円が発生し、補

填のため追加繰り出しをするなど経営の悪化が増幅している。新病院開設までに医師の確保と定着化を図り経営を立て直し、かつ町民に信頼される病院にして、新生病院を次の世代にバトナタッチすることが町長の使命では

町長 町民の生命を守る医療機関として町民に親しまれる病院をつくっていく。

問 小規模校・複式校の状況と今後の学校規模適正配置の取扱い
答 竹浦小学校、虎杖小学校が小規模校・複式校である。今後の学校規模の適正配置とし



旧白老小学校校舎

て、来年度に向けて小中学校適正基本方針の策定を進める。

問 「蔵」の公の施設としての設置は

答 行政財産への移行を議論している

問 町民文化施設「蔵」の公の施設としての設置と運営に関する取組と進捗状況、時期及び建物・施設の改修のめどは
答 「蔵」を歴史的建造物としての保存管理、町民の文化艺术活動、地域コミュニティの拠点として活用を図るため現在の普通財産から行政財産への移行について法人と議論している。施設全体は老朽化しているため、改修・整理の必要性を認識している。

※このほか「町政執行方針」「行財政・行政組織運営」を質問した。

問 防災・減災施策の具体的な進め方は

答 避難施設の確保・要支援者の支援の確立である



公明党

氏家裕治議員

問 「コロナに負けない安心して暮らせるまちづくり」について、早期に3回目のワクチン接種を終える目標をもって進めるとあるが具体的スケジュールは

町長 初回接種のノウハウを生かしつつ、予約方法の簡素化やコールセンターの体制強化を図り業務を進めている。また、接種間隔を6か月に短縮し、3月5日現在の接種率は55・4%、3月31日までには96%の方が追加接種を終えることができるよう接種枠を確保している。

今後は、3月28日より5歳から11歳以下の小児へのワクチン接種を開始するため、すでに接種券の発送を終えており、ワクチン接種に対する理解促進に努めていく。

問 「人と自然が共生した、住みよい生活環境のまち」での、防災・減災施策の具体的な進め方と課題は

町長 昨年、日本海溝・千島海

溝型地震発生における津波浸水域が公表され、津波高や津波到達時間、浸水域などの予想される被害が拡大している。

また、ここ数年で河川氾濫区域の拡大や土砂災害警戒区域に指定され、地震や津波以外の自然災害への対応を含め避難施設の確保、要支援者の支援方法の確立など、関係団体のご理解とご協力をいただきながら、取り組んでいく考えである。



東日本大震災発生時の白老港

問 都市計画では、立地適正化計画の策定を行い都市の将来展望を示すとともに自然災害等に対応する適切な土地利用に向けた取り組みを進めるとあるが、具体的なスケジュールと課題、町民説明は

町長 立地適正化計画については、本年6月頃に町民説明会の実施、12月頃の策定を目標に進めている。策定にあたっては、今後の人口減少社会を見据えた適切な設定と理解、また、市街地全般が津波浸水域であることによる対策等を整理していくことが課題と認識している。

問 陳情採択された元気号の登別延伸の進捗状況は

町長 都市間交通は、民間事業者が運行することが原則であり、当該区間における地域公共交通の運行には至っていないが、地域要望や陳情採択の状況等を踏まえて、関係機関等との協議、調整に努めていく。

問 障がい者支援の具体策は

答 福祉介護人材の育成や 確保策を行う



日本共産党

森 哲也議員

問 コロナに負けない安心して暮らせるまちづくりの具体策は

町長 町民生活の安定化を図るため、ワクチン接種を計画的に進めてきた。

また、地域経済の立て直しを図るため、町内事業者の経営を最優先に考え、様々な給付事業により支援を行ってきた。

問 コロナに負けないまちづくりをしていくうえで、影響がでている事業所に町として支援策を積極的に取り組むべきでは

町長 3か月の頻度で事業所にアンケート調査をしている。コロナの影響が大きい業種を中心に支援をしている。

既存の事業所がコロナ終息後にも営業を継続できるように支援を考えている。

問 障がいを抱える方への支援の充実を図るうえでの具体策は

町長 令和4年度においては、障がい者に対する生活支援体制の強化を進める考えである。



白老町社会福祉協議会デイサービスの様子

福祉介護人材の育成や確保をはじめ、日常生活における生活圏の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉有償運送と連携した移動支援の強化を図る。

問 健全なまちづくりを目指すうえで、困難を抱えて生活している方の掘り起こしが重要では

副町長 多文化共生の中で、障がいの有無に関わらず共生できる相談体制をつくる。

問 人口減少を抑制する取組・関係人口の創出策は

町長 関係人口の創出について、「きっかけ」を作り出す仕組み、さらには「きっかけ」から生まれた関係を維持・向上させる仕組みづくりが重要であると考えている。その中で、企業誘致活動を「きっかけ」とした関係人口の創出が最大の効果を発揮すると捉えている。

しかし、町内では生産年齢人口の減少から労働力不足が課題となっている。

問 人口減少の影響により、町内の事業所で働き手不足が顕著になっている現状だと認識している。雇用促進事業を強化していくべきでは

副町長 ハローワークと連携して対策に取り組んでいる。今後、様々な方法を考え雇用促進事業を推進していく。

問 財政健全化プラン指標を達成できた意味とは



いぶき 広地紀彰議員

答 未来のまちづくりのスタートラインに立ったと考える

問 町政執行方針について、町政に臨む基本姿勢「安心」への施策として、コロナ対応補助金申請手続き支援が重要である。特に事業復活支援金はネット対応であり、中高齢者の事業者には非常に敷居が高く、支援が求められているのではないかと副町長。申請が複雑になっている。商工会の力も借りて、町の事業については簡単になるよう考えていきたい。

問 令和4年度の主な施策である循環型社会形成について伺う。政府は、「プラスチック資源循環戦略」を打ち出し、静岡県御前崎市では、日本最大級のプラスチック再生・再資源化施設が、豊田通商、ヴェオリア・ジャパンなどの共同出資により展開されている。白老も、太陽光発電を中心に再生可能エネルギー1等の展開が見られている。ここに、再生可能エネルギー・再資源化拠点の町という政策を見



町内に設置された太陽光パネル（SBエナジー設置）

いだせるのではないかと副町長。ゼロカーボンや再生可能エネルギーが重要となっており、官民の役割や可能性を研究しながら進めたい。

問 財政健全化プラン指標を達成できたことは、町民や事業者、職員の努力のたまものであると評価しているが、達成した意味とは何か

副町長 未来のまちづくりのスタートラインに立ったと考える。

問 多文化共生を標榜する白老の道徳とは

答 白老未来学にある

問 多文化共生を標榜する白老においては、まさに多様性を生きた形で、真剣に向き合っていないか、白老における道徳は

答 多様な考えに触れる学びは、白老未来学にあると考える。白老未来学の最終形は、子どもたちが、自らの言葉で発信できることであり、この態度は道徳につながるかと考える。

問 地域おこし協力隊が任務を終えられた後も白老に定着頂くための更なる支援が必要ではないか。隊員をまちづくりの仲間として協働していく姿勢が重要ではないか

答 我々もしっかりと寄り添いながら対応したい。

問 役場庁舎の建設について 複合施設の可能性は

答 図書館など複合化の 可能性も含めて検討する



みらい
貳又聖規議員

問 町政に臨む基本姿勢として「未来を見据えた施設の長寿命化や適正配置を計画的に行い、まちづくりを推進する」とある。役場庁舎の建設について、どのようにして町民と対話を重ね取組を進めていくのか

町長 令和5年度以降の実施設計に向けて、4年度は基本計画を策定し、複合化する施設、建設場所、財源等を決定する。町民アンケートやワークショップ等の手段で町民からの要望を取り入れる。

問 役場庁舎の建設について、複合施設の可能性はあるか

町長 図書館と高齢者学習センターについては、ともに老朽化が見られ、安全性の確保と機能の充実が必要なことから、複合化の可能性も含めて検討する。庁舎はまちづくりの拠点であり、防災の観点や公園、アイヌの交付金等を視野に入れ、優位な補助金の獲得に主力で取り組む。

問 「水産業の振興について」漁業者が安心して漁業を営むことが可能となる支援策の考えは

町長 漁家経営は、漁獲量の低迷により、現実的に事業者や働き手の収入減が数値に表れている。いぶり中央漁業協同組合などと連携を強化し、対応策を検討する。

育てる漁業の転換と養殖も含めて、漁場環境を研究し、収入が増加する政策を展開したい。



新病院のイメージ図

問 町立病院の医師の退職が相次ぎ多くの町民が困惑している。医師の確保には院長や町長が自ら大学医局に訪問し熱意を伝え、町民から信頼される医師を獲得すべきであるが、その考えは

副町長 医師の退職が続き町民の皆様にご負担かけ申し訳ない。働き方改革により医師の獲得が難しくなっている。新たな戦略をもって、町長含めて、しっかりと取組を進めたい。

問 道内の先進地である松前町立病院の事務局体制は正職員9名と手厚い。白老は正職員3名であり、地域医療への力の入れ方が違う。町は、多額の税金を投入する病院建設を目前に控え、町民の信頼を必ず勝ち得る必要がある。病院の組織体制の充実が求められるが、その考えは

副町長 地域に信頼される医療の提供には、人的配置が最も重要である。新しい病院づくりの体制をしっかりと考えていく。

問 令和3年度の収支状況は



大淵紀夫議員

答 1.5億円から2億円程度の黒字が見込める

問 令和3年度の収支見通しは

町長 コロナ感染症対策地方税減収補填特別交付金約4700万円を含め、概ね1億5000万円から2億円程度の黒字が見込めると考えている。

問 起債と基金の変動状況は

町長 起債は総額8億8500万円、基金は差引で3億2623万円増で残高は約25億1000万円となる見込みである。

問 本年度のふるさと納税の見通しは

町長 2月末現在で過去最高額を上回る6億722万3000円の寄付額である。

問 令和4年度の予算執行の基

本と中心的施策の方向について
町長 新型コロナウイルス対策のワクチン接種や感染予防対策などの安全・安心な暮らしを守る事業、町民要望が多い町道や道路排水、橋梁、河川等の町民生活に密接したインフラの改修事業のほか、町立病院や子育て



令和4年度予算書

支援拠点施設の改修など未来へ視点を向けた事業を中心にまちづくりに取り組んでいく考えである。

問 町立病院の運営と財政見通しは

町長 町立病院に対する一般会計からの繰出金は前年同額の3億981万8000円、病院改築分として出資金6805万4000円と企業債5410万円を見込んでいる。

問 アイヌ政策推進交付金の活用状況と考え方は

町長 令和4年度においては1億7846万円のアイヌ政策交付金を活用し、アイヌ文化振興をはじめ地域・産業振興、コミュニティ活動支援を図るため、全13事業を行う。

問 特別交付税や補助金、交付金あつての事業計画ではなく、確固としたまちづくりの方針と政策があつての補助金等の獲得だと考えるが

町長 財源として重要だが、補助金ありきではなく、確固としたまちづくりの方針と政策があつての補助金の獲得と考えている。

問 若い職員の政策議論、財政議論、力量を活かすための研修体制の確立が必要では

町長 職場内、部署間で多角的に議論し、効率的な実効性のある政策づくりが重要と考えている。



長谷川かおり議員

問 放課後における児童の安全な居場所の確保と充実について

答 民間団体と町側がタッグを組み可能性を探っていきたい

問 放課後児童対策の現状と課題について

町長 児童クラブの登録人数は令和4年2月1日現在で132名。クラブ室の狭隘化と支援員、補助員の安定的確保が課題。

放課後の取組として、NPO法人お助けネットが様々な体験活動をおし居場所づくりを行っている。

また、校内では地域の方を講師としたクラブ活動や学習支援を行っているが、恒常的に実施できないことや人材確保が課題と捉えている。

問 地域ぐるみで子どもを育てる体制整備は

町長 地域食堂を運営している団体が学習支援を行い、教育団体や地域おこし協力隊の協力を得て公民館講座を開催し体験イベントの開催に取り組んでいる。

問 各課での取組みを横断的にまとめていくコーディネーターの必要性は

答弁 児童の安全対策や子どもの居場所づくりの計画も踏まえて学校と地域と連携するコーディネート機能は重要と捉えている。

問 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化の考えは

答弁 空き教室の確保など課題はあるが意向調査を行い段階的に取り組んでいきたい。

副町長 民間団体と行政がタッグを組み地域の実情に合った居場所づくりを検討していく。



美園児童館で過ごす子どもの様子

問 終活支援のサポート体制は

サポート体制は

答 担当課や専門家を

紹介している

問 ご遺族の負担軽減のためにも葬儀終了後の各種手続きのワンストップサービスの考えは

町長 庁舎内外に課が分かれていることで担当課に直接足を運ぶ必要があると捉えている。お話を聞きながら必要な情報を把握し手続きの簡略化や時間短縮につながるよう努める。

問 終活サポート事業の展開の考えは

町長 本町としては関係課の相談体制で対応を行っている。

答弁 必要な相談窓口や書き残しておくべき事項の一覧表を作成し今後はサロン等で拡げていきたい。

問 職員の政策形成能力の向上は
町民サービスの向上につながるが



佐藤雄大議員

答 研修体制を整え、
組織の強化を図っていききたい

問 職員研修基本方針の策定状況は

町長 個々の資質、能力の向上による組織力の向上に向けて策定を進めており、令和4年度から運用開始予定。

問 研修の充実や資格手当の導入、評価結果の反映は職員のモチベーション向上につながるが

答 研修の費用や資格取得にかかる費用は業務に必要なものであれば助成できる。評価結果の反映や手当については今後基準を設け、職員の意欲向上につながるよう意見を聴きながら協議し、早い時期の実施を目指していきたい。

問 計画に「前例踏襲主義を排除し、町民ニーズに対してできない理由ではなくできる方法を考えて積極的にチャレンジする職員の意識改革と、気づき・考え・行動する職員の人材育成を進めます」とあるが、職員全体で意識の統一はできているか

町長 多くの職員に浸透していると考えている。今後も意識改革を進めていきたい。

問 職員の政策形成能力の向上は町民サービスの向上につながる。職員への投資は本町の大きな財産になり、最大限発揮できる環境づくりは組織力の強化にもつながる未来への投資であり推進すべきだが



職員の研修の様子

副町長 職員の能力の向上は町民サービスの向上につながっていくため、職員の資質向上を図るためにも研修体制を整え、組織の強化を図っていききたい。

問 助成金等有利な財源を確保できる能力を身につけるべきであり、特に若い職員にも挑戦する習慣を増加させていくべきである。これは財政運営だけではなく、人材育成と組織力の向上につながるかと考えるが

答 現状、町の予算の中で国の補助金・助成金を3割程度活用しているため、職員に浸透している状況である。しかし、さらなるチャレンジ精神は必要であり、場合によっては他自治体との競争激化もあるため能力の向上も必要になってくる。公務員能力の向上や様々な人とのつながりや行政の横の連携を重要視していきながら、今後も獲得に向けて取り組んでいきたい。

問 町長は高齢者大学の学生と懇談し声を聞くべき

答 学生の声を聞き大学の在り方を進めたい



西田祐子議員

問 高齢者学習センターの耐震と安全性は。また、白老町公共施設等総合管理計画には「高い危険性が認められた場合は、利用や通行を規制するなどの安全確保措置を速やかにとるとともに、他の施設による代替可能性を含めて機能確保策を検討する」とあるが、どのような扱いになっているか

答 弁 木造の建物で耐震の診断は一切されていない。

副町長 新たな場所への移動を考えている。

問 津波・地震などを想定した避難訓練を行ったことはあるか

副町長 把握していない。

答 弁 これまでやっていない。

問 いきいき4♥6を教室として利用し、学生の安心安全を確保するべきでは

答 弁 教室の一部を活用することも視野に入れて検討したい。

問 高齢者大学のルールは何を基準に決めているのか。町長は



高齢者大学卒業式

学生と懇談し声を聞いてほしい町長 大学の学則は今の時代にそぐわなくなってきた。学生の声を聞きながら、これからの在り方を含めて進めていきたい。

問 ウポポイで小中学生による、ムツクリの音楽祭を開催しては

町長 北海道各地のアイヌ協会からムツクリの大会案がある。

アイヌ文化を学ぶ、ふるさと学習の延長の中で手法を取り入れられたらよい。ウポポイ側とも

協議しながら進めていきたい。

問 再生可能エネルギー

関連の条例制定を

答 年内に条例案をつくりたい

をつくりたい

問 再生可能エネルギー発電施設の事業者数と個人設置件数は

町長 太陽光発電施設の出力10キロワット以上の事業者は77件、個人は60件。現在も設置に関する相談が町に寄せられている。

問 全国で続々と関係条例がつけられ、北海道も7か所制定している。白老町は太陽光発電に適している環境と言われている。再生可能エネルギー事業との共生・調和を図る条例制定を望むが

副町長 それぞれの市町村でつくられているものを参考にし、景観など共存できる内容の条例を検討したい。できれば年内に条例案をつくりたい。

問 コンポスト補助金の増額の考えは



久保一美議員

答 令和5年度以降も助成内容を 拡充していきたい

問 コロナの影響により、海岸清掃活動が中止や縮小になっているが、コロナ前からの変化が必要ではないか

答弁 ボランテニア袋の活用についての広報など、コロナ禍でも清掃活動ができる工夫を考えたい。

問 ごみを捨てづらくなるような環境づくりのアイデアの強化を感じるが

答弁 町全体の機運の醸成が必要と感じている。今後も検討を進め、できるところから始めていきたい。

問 生ごみの排出量削減対策としてのコンポストの購入助成の過去3年間の実績は

答弁 令和元年度5件、令和2年度7件、令和3年度11件。

問 コンポストの色々なタイプの補助金の割合と増額の考えは

答弁 固定式容器型は購入金額の2分の1以内で3000円が限度、電動式処理機は購入金額

に関わらず、一律1万円である。令和5年度以降も助成内容を拡充していきたい。

問 学校給食で1日に発生する調理くずと残食、処理方法は

答弁 脱水後の残量で1日約45キロ、週3回町内業者が回収している。

問 再利用や再生利用などの事例もあるが

答弁 本町で検討した経緯はないが、近隣での検討では費用対



固定式容器型のコンポスト

効果の状況で諦めた経緯がある。今後、環境教育重要視の部分もあるのでは、何かの対策ができればと考える。

問 本町らしい緑化活動で町内会や民間企業の活動状況は

答弁 春・秋のクリーン白老ではごみ拾い、花壇整備、植栽等の活動、企業や各団体では海岸清掃や草刈り、ごみ拾い等が行われており、町もその活動を支援していきたい。

問 具体的な支援とは

答弁 草刈り機の貸出し、燃料の一部助成など。

問 全町的な緑化活動に直接関わる地域おこし協力隊活用の考えは

答弁 本町の緑化活動は、町内会・企業・その他の団体が主となっている。協力隊が加わることで、活動の幅や推進が図られるとすれば、活動されている方の声を聞きながら、活用について考えていきたい。



及川 保議員

問 町内のコロナウイルス感染情報を 防災行政無線活用の考えは

答 保健所の公表が基であり 個別の情報提供は難しい

問 コロナウイルスの感染拡大・第6波への対策として「まん延防止等重点措置」が発令され、再延長中だが、町の感染状況と対応は

町長 北海道の発表では、本町の令和3年12月末までの累計感染者数は29名だったが、本年1月以降3月5日現在で204名である。急激な増加原因は、より感染力が強いオミクロン株への置き換わりと捉えている。

町の対応として、北海道の決定に基づき更なる感染防止策の徹底と、不要不急の外出自粛要請などを町のホームページや、関係機関を通じて周知を図っている。

問 コロナウイルス感染予防を含めた、町の情報発信の在り方について、特異なアレルギー体質や、基礎疾患を抱えてワクチン接種ができない町民からは、町内の急激な感染拡大に不安を訴える声が出ている。町民が町

内の感染状況を知るにはホームページや、報道機関による一週間単位の報道に頼っているのが現状だが、全町を網羅している防災行政無線を活用する考えは

町長 町民の中には健康上の理由により、ワクチンの接種ができない方も一定程度いると捉えている。このような方については、町立病院において無料でPCR検査を実施している。

また町内の感染者数は、毎週



ワクチン集団接種会場

月曜日に北海道が公表するもので、防災行政無線も含め、町による個人情報につながるような情報の提供は難しい。

問 町立病院において、多くの患者や入所者、職員がコロナウイルスに感染した。感染対策を徹底していたはずだが、状況と今後の対応策は

町長 町立病院では、2月1日に職員1名の陽性が判明し、最終的には入院患者4名、老健施設入所者6名、職員4名の合計14名の感染が判明した。特に職員以外の陽性判定者については、2階病棟において一斉隔離のうえ、24時間体制による診療行為が必要となったが、その後新たな感染者はなく、陽性判定者の回復具合と発症から10日間の経過期間を経て2月21日より平常運営に戻した。

今後、病棟や施設など細部にわたって感染防止対策に努める。

委員会レポート

各常任委員会では所管事務調査を行い、その結果を定例会3月会議で報告した。

産業厚生常任委員会

マイナンバーカードの運用と今後の活用について

【マイナンバーカードの現状と今後の展望】

マイナンバーカードの交付状況は、令和4年1月末現在、北海道37・9%、全国41・6%、白老町33・3%（交付枚数は5449枚）となっている。

国では、カードの申請、健康保険証としての利用や公金受取口座の登録でポイントが付与される制度の構築などにより申請を推進している。

町では、令和3年9月より健康保険証の利用支援業務を開始し、令和4年1月末現在で

702名の支援を行っている。

将来的には、運転免許証や各種サービスの連携が進むと保健指導や確定申告など、様々な分野での利便性向上が期待される。

【委員会意見】

マイナンバーカードは、利用範囲拡大が町民にとって利便性の向上につながる可能性を秘めていると捉える。カード事業の一層の推進を図るべく、第一に更なる周知・普及を進めるべきである。今後も制度の情報収集に努め、町民へのメリットを把握し、普及が求められる若い町



マイナンバーカード証としての利用申請窓口

民への呼びかけや既存のカード保有者にも有効活用の促進を図るべきである。

第二に制度のメリットの相乗効果を図るべきである。現在、マイナンバーカードの健康保険証利用により特定健診受診情報が提供されているが、本人の了解のもと、この情報を関係機関が閲覧することにより特定健診受診率の向上や健康増進施策づくりに活かされると考える。関係各課の連携のもと、相乗効果を狙う視点や、普及によって役場の事務事業の効率化が図られる観点など、多面的に捉えながら、一層の事業進展を図られたい。

広報広聴常任委員会

（1）小委員会

【研修の実施について】

全国町村議長会広報研修動画の研修を行った。また、全道町

村議長会広報クリニック動画を自主研修とした。

【議会だよりの改革について】

議会だよりの改革を進めるにあたり、町民に読んでもらえるための課題抽出を目的として、議会議中継やホームページ等も含めた議会広報全般にわたる実態調査を行うこととした。5月中旬には、町民向けに実態調査を実施する。

【議会広報活動の充実について】

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、議会報告会を動画配信により実施し、現在までに800回以上の視聴回数となっているが、未だ新型コロナウイルス感染症の収束のめどは立たない状況にあることから、令和4年度についても動画配信により議会報告会を実施することとした。

【議会広報活動の充実について】

議会だより第178号の編集・発行を行った。

政策研究会

若者定住策について

政策研究会では町内の文化芸術団体、子育て関係団体の方々と懇談を実施した。

【文化芸術団体との懇談①】

主な意見は次のとおりである。

「芸術文化は産業の一つであるという視点を持つべき」

「日常レベルの文化芸術活動の充実を図るべき」

「ウポポイと連携した演奏会の実施をしてみたい」

「役場や町民の皆様は文化芸術に対して関心を持ってほしい」

【子育て関係団体との懇談】

主な意見は次のとおりである。

「町内に小児科や大きな公園がほしい」

「白老の情報をもっと発信した方がよい」

「特色ある教育があるといい」

「休日保育や児童クラブをさらに充実させ、親が働きやすい環境整備が必要」



文化芸術団体との懇談①



子育て関係団体との懇談

【文化芸術団体との懇談②】

主な意見は次のとおりである。

「企業版ふるさと納税を活用すべき」

「SNS戦略の強化・統一化を図るべき」

「女性が働きやすい環境づくり、特に0歳児保育が必要」

「白老に移住してでも体験させたい特色あるものをつくる」



文化芸術団体との懇談②

総勢16名の方々に多くの貴重なご意見をいただきました。今後も議会としての役割をしっかりと果たし、議論していきたいと考えています。

懇談に参加していただいた各団体の皆様ありがとうございました！

定例会1月・2月・3月

会議報告

議決結果をお知らせします

予算

〔令和3年度補正予算〕

◎定例会1月会議

▼一般会計補正予算(第11号)

▼町立特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)

▼一般会計補正予算(第12号)

▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)

◎定例会3月会議

▼一般会計補正予算(第13号)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

▼後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

▼水道事業会計補正予算(第2号)

▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第5号)

▼一般会計補正予算(第14号)

▼町立特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)

〔令和4年度予算〕

▼一般会計予算(反対・森議員・大淵議員)

▼町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第6号)

◎定例会3月会議

▼白老町職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町総合保健福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計条例を廃止する条例の制定について

▼白老町産業振興基金条例の制定について

▼職員の給与に関する条例及び白老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

条例

◎定例会3月会議

▼白老町職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町総合保健福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計条例を廃止する条例の制定について

▼白老町産業振興基金条例の制定について

▼職員の給与に関する条例及び白老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼白老町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎定例会1月会議

▼専決処分の報告(工事請負契約の金額の変更について)

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

◎定例会3月会議

▼例月出納検査の結果報告について

▼財政的援助団体等の監査の結果報告について

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

▼委員会所管事務調査報告

・産業厚生常任委員会

・広報広聴常任委員会

報告

◎定例会1月会議

▼専決処分の報告(工事請負契約の金額の変更について)

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

◎定例会3月会議

▼例月出納検査の結果報告について

▼財政的援助団体等の監査の結果報告について

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

▼専決処分の報告(損害賠償の額の決定について)

▼委員会所管事務調査報告

・産業厚生常任委員会

・広報広聴常任委員会

発議案等

◎定例会3月会議

▼白老町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

▼議員の派遣承認について

工事契約

◎定例会2月会議

▼工事請負契約の締結(令和3年度施行 バンノ沢川砂防工(第7支溪))

・契約金額:1億384万円

・契約相手:道南総合・田中特定建設工事共同企業体

・落札率:97・7%

財産取得

◎定例会1月会議

▼取得財産:中央公民館等備品一式

・契約金額:902万円

・落札率:97・7%

陳情

◎定例会3月会議

▼陳情第2号 地熱(温水)の維持活用をはかるために、町民理解の一層の促進を求める陳情書(提出者 斉藤隆起氏、増子孝氏、岩本久氏、鳥谷部邦雄氏)を採択

意見書

◎定例会3月会議

▼介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象接種の拡大を求める意見書

▼地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

▼給付型奨学金制度の拡充と教育費負担の軽減を求める意見書

決議

◎定例会3月会議

▼ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

議会のいびき

■定例会・委員会等

〔1月〕

6日 議会運営委員会

定例会1月会議

12日 政策研究会

広報広聴小委員会

産業厚生常任委員会

17日 全員協議会

総務文教常任委員会

18日 政策研究会

定例会1月会議

26日 全員協議会

産業厚生常任委員会

〔2月〕

8日 駅北地区観光商業ゾーン整備

・活性化促進特別委員会

9日 政策研究会

広報広聴小委員会

10日 総務文教常任委員会協議会

18日 議会運営委員会

定例会2月会議

21日 全員協議会

22日 議案説明会

24日 政策研究会

25日 議会運営委員会

28日 広報広聴小委員会

産業厚生常任委員会

〔3月〕

4日 総務文教常任委員会協議会

8日 議会運営委員会

8日 11日 定例会3月会議

15日 17日 予算等審査特別委員会

15日 議会運営委員会

定例会3月会議

議案説明会

17日 広報広聴小委員会

18日 定例会3月会議

23日 全員協議会

総務文教常任委員会協議会

政策研究会

白老町情報公開 条例に基づく公文書の開示状況 結果

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の議会への公文書開示請求はありませんでした。

議会の傍聴について

現在、傍聴席は間隔を空けてお座りいただけるようにしていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会の傍聴は自粛をお願いしています。

インターネットで議会中継を配信していますので、ご利用可能な方は中継を御覧くださいようお願いいたします。

傍聴される方はマスクの着用をお願いします。

定例会6月会議の予定

■日時（いずれの日も10時から）

6月17日（金）議案説明会

6月21日（火）～23日（木）一般質問

6月24日（金）一般議案

6月27日（金）予備日

■会場 議会議事堂（役場2階）

*日程が変更になることがありますので、詳細は議会事務局へお問い合わせください。

電話82-6620

編集後記

広島市の平和公園内にある原爆ドームと慰霊碑。その二つの建造物を結ぶ直線は「平和の軸線」と呼ばれる。軸線を考案したのが、建築家の丹下健三氏。原爆ドームは当初、取り壊されることも検討された。氏は平和公園の設計に際し、慰霊碑の先にドームが見えるようにした。二度と核兵器を使用しないためのシンボルに変えたのである。

過去と未来―両者を結ぶ「軸線」を描くのは、今を生きる私たちである。

東日本大震災から11年目を迎えた。大津波により、多くの人たちの命と住まい、なりわいが失われた。それぞれの町の復興は着実に進んでいる。新しい町づくりが進む中において、津波によって甚大な被害を受けた学校やいくつかの建物が遺構として残された。津波の悲惨な記憶を語り継ぎながら、まちづくりが進められている。

定例会では、昨年、日本海溝・千島海溝型地震発生における新たな津波浸水域が公表され、津波高や津波到達時間、浸水域などの予想される被害が拡大しており、実践的な防災訓練の実施の他、避難施設の確保、要支援者の支援方法の確立などについて、課題に取り組むとの考えが示された。具体的な施策を早期に示されんことを望む。

（4月12日 記 氏家 裕治）

白老町議会報告会のお知らせ

5月27日から

報告会を

動画配信します！

視聴 800回※

達成しました！

皆様のご感想を
お寄せください！

※昨年報告会動画再生数

配信内容

議会全体の動き、議会運営委員会
総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会
広報広聴常任委員会、政策研究会
※令和3年1月から12月の活動内容を報告します。

視聴方法

YouTube、
白老町議会ホームページ内で公開

インターネットでの検索はこちら ⇒

白老町 議会報告会 🔍

※配信内容に関するご質問は白老町議会ホームページより質問様式をダウンロードの上、メール又はFAXにて送信してください。（宛先は下記）

【ホームページ URL】 <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/soshiki/gikai/>

【白老町議会事務局】 FAX 0144-82-3381 / メール gikai@town.shiraoi.hokkaido.jp

アンケート調査のお願い

町民の皆さんに分かりやすく親しまれる議会を目指して議会だよりやホームページの改革に取り組みます。

右記の QR コードよりアンケートにご協力ください。

